

はたち to わたし

はたちのつどいが1月7日、
釜石市民ホールTETTOで開
かれ、対象者274人中244
人が出席。家族や友人たちと
二十歳の門出を祝いました。

式典では、代表の川崎 瞭さん
(鵜住居町) が「釜石の復興を導

いてくれた偉大な大人たちに、
釜石、そして日本の未来を任せ
てくれと胸を張って言えるよう
な大人になろうと思います。こ
れから先の人生で僕たちは多く
の困難に出会い、その度にここ
にいる仲間と助け合いながら前
に進もうと思います」と力強く
二十歳の抱負を述べました。

この他、中学・高校時代の恩
師からのビデオメッセージ、郷
土芸能披露などで会場は大きな
盛り上がりを見せ、市民憲章唱
和などで大人としての自覚を新
たにしました。

参加者は、友人たちとの久々
の再会や写真撮影などを楽しみ、
決意に満ちたまなざしで未来へ
の新たな一歩を踏み出しました。



あなたはどんな大人に?
各代表に聞いてみた

代表抱負発表



川崎 瞭さん

司会進行



太田 愛香さん 岡本 佳琳さん

市民憲章・防災市民憲章唱和



杉田 翔さん

郷土芸能披露



平野 裕太さん

